

KOGANEI

I/O ターミナル YS9 サポートソフト

ユーザーズマニュアル

Ver.1.0

1 目次

1 目次.....	1
2 改訂履歴	2
3 ソフトウェア概要.....	3
3-1 概要.....	3
3-2 使用環境条件	3
4 ソフトウェア使用前の準備	4
4-1 事前準備	4
4-2 必要ソフトウェアの入手/インストール	4
5 使用方法	5
5-1 ソフトウェア起動時のフロー.....	5
6 メインウィンドウ.....	6
6-1 メインメニュー	6
6-1-1 ファイル.....	6
6-1-2 オンライン	6
6-1-3 デバイス.....	7
6-1-4 ツール	7
6-1-5 ヘルプ	8
6-1 構成表示エリア	8
6-1-1 詳細ダイアログ.....	8
6-2 メインタブ.....	9
6-2-1 ステータス.....	9
6-2-2 モジュール個別情報	9
6-2-3 統計.....	9
6-1 状態表示エリア	10
6-2 カタログツリー	10
7 I/O ターミナルへパラメータを反映する方法	11
8 付録.....	13
8-1 エラー詳細と対処方法.....	13

2 改訂履歴

2 改訂履歴

改訂年月	改訂内容
2026 年 6 月 30 日	初版

3 ソフトウェア概要

3-1 概要

本ソフトウェアは当社製品の I/O ターミナル YS9 シリーズの設定および状態表示を行うための Windows 用のソフトウェアとなります。

3-2 使用環境条件

- ・対応 OS
Windows10, Windows11
- ・CPU
1GHz 以上の 32bit(x86)または 64bit(x64)プロセッサ
- ・メモリ
2GB 以上
- ・ハードディスク
500MB 以上の空き領域
※.NET Runtime の必要空き領域を除く。
- ・ディスプレイ
解像度 1024 × 768 以上
- ・その他
.NET Runtime 8.0 がインストールされていること
USB Type-A ポートを 1 つ以上持っていること

4 ソフトウェア使用前の準備

4-1 事前準備

.Net Runtime 8.0 がソフトウェアを使用するパソコンにインストールされていない場合は、Microsoft 公式ダウンロードセンタより入手し、インストーラの手順に従ってインストールを行ってください。

Windows および .Net Runtime に関するお問い合わせは Microsoft サポートへお願いいたします。

4-2 必要ソフトウェアの入手/インストール

- ① ソフトウェアを当社ホームページよりダウンロードしてください。
ネットワーク環境がない場合などソフトウェアの入手ができない場合は、最寄りの当社営業所もしくはお客様技術相談窓口にお問い合わせください。

- ② 入手したファイル「YS9SupportSoft_xxxx.zip」を解凍してください。

YS9SupportSoft_Vx.xx

```
├── Driver
│   └── CDM212364_Setup.exe
├── SupportSoft
│   └── YS9SupportSoft_Setup.exe
└── Manual
    └── YS9SupportSoft_Manual_J_V*.*.pdf
```

※各インストールには管理者権限が必要となります。

- ③ USB-RS485 変換器ドライバのインストール

当社製品の USB-RS485 変換器(IBM2A-H/EVPH1 等)ドライバをすでにインストール済みの場合は不要です。

- 1) Driver フォルダ内にあるインストーラ「CDM212364_Setup.exe」を実行してください。
- 2) USB-RS485 変換器ドライバのインストールが開始されるので、指示に従ってインストールを行ってください。

- ④ サポートソフトのインストール

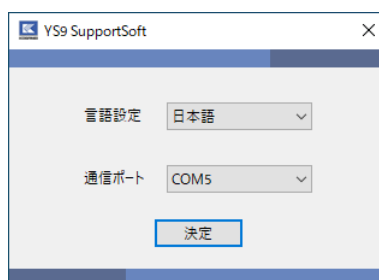
- 1) SupportSoft フォルダ内にあるインストーラ「YS9SupportSoft_Setup.exe」を実行してください。
- 2) インストーラが起動しインストールが開始されるので、指示に従ってインストールを行ってください。

5 使用方法

5-1 ソフトウェア起動時のフロー

本ソフトウェア起動後、以下のように画面遷移します。

- ・ソフトウェア設定(初期画面)



オンライン状態で使用する場合

通信ポートに I/O ターミナルを
接続しているポートを選択

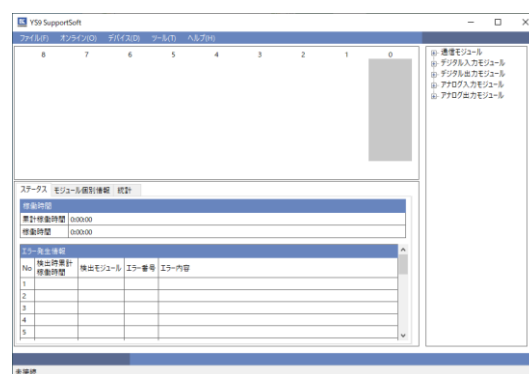
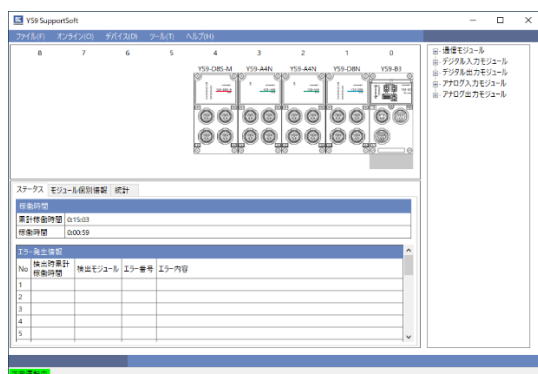


オフライン状態で使用する場合

通信ポートに「Offline Use」を選択



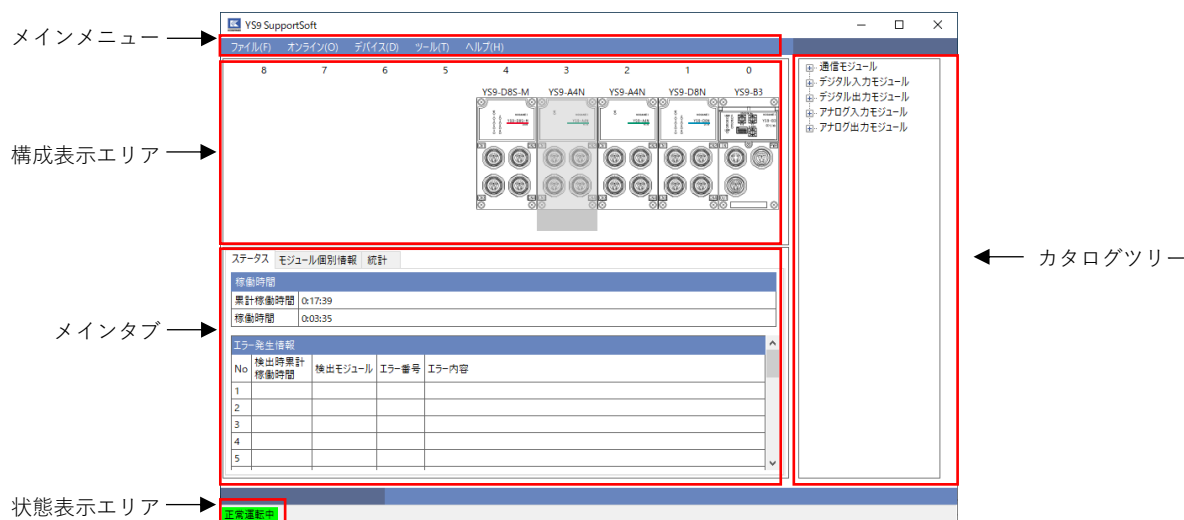
・メインウィンドウ



6 メインウィンドウ

6 メインウィンドウ

YS9 サポートソフト起動中に表示されるメインの画面です。

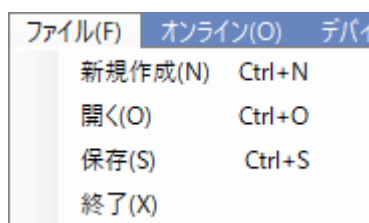


6-1 メインメニュー

プルダウンメニューに表示される項目と各項目で実施できる操作は次の通りです。

6-1-1 ファイル

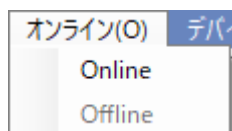
ファイルに関する操作を行うメニューです。



メニュー名	説明
新規作成	現在の構成及びパラメータを破棄し新規作成を行います。
開く	*.YS9 ファイルを開き、構成およびパラメータを読み込みます。
保存	現在の構成およびパラメータを*.YS9 ファイルとして保存します。
終了	アプリケーションを終了します。

6-1-2 オンライン

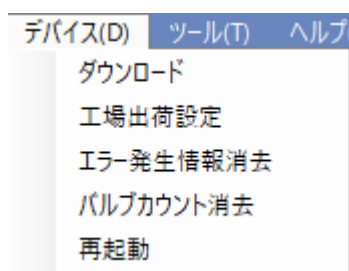
I/O ターミナルとの接続関連の操作を行うメニューです。



メニュー名	説明
Online	I/O ターミナルと接続し、オンライン状態に移行します。
Offline	I/O ターミナルとの接続を解除し、オフライン状態に移行します。

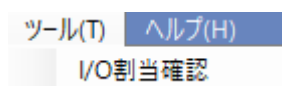
6-1-3 デバイス

接続している I/O ターミナルに対する操作を行うメニューです。



メニュー名	説明
ダウンロード	I/O ターミナルにパラメータをダウンロードします。
工場出荷設定	I/O ターミナルを工場出荷状態に戻します。
エラー発生情報 消去	I/O ターミナルに記録されているエラー発生情報を消去します。
バルブカウント 消去	I/O ターミナルに記録されているバルブオン回数を消去します。
再起動	I/O ターミナルを再起動します。

6-1-4 ツール



メニュー名	説明
I/O 割当確認	I/O 割当マップを表示します。 通信モジュールが構成表示エリアに存在する場合のみクリック可能です。

6-1-4-1 I/O 割当マップ

構成表示エリアに追加された通信モジュールに応じた I/O 割当マップを表示します。

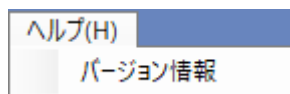
以下は通信モジュールが YS9-B3（CC-Link Ver1.0 対応）の場合の I/O 割当マップです。

I/O割当							
占有局数 1		リモート入力 (RX)32bit		リモート出力 (RY)32bit		リモートレジスタ (RWr)4word	
リンクデバイス	割当先	リンクデバイス	割当先	リンクデバイス	割当先	リンクデバイス	割当先
RX00	Mod1 ch1	RY00	Mod0 ch1	RWr0	未割当	RWw0	未割当
RX01	Mod1 ch2	RY01	Mod0 ch2	RWr1	未割当	RWw1	未割当
RX02	Mod1 ch3	RY02	Mod0 ch3	RWr2	未割当	RWw2	未割当
RX03	Mod1 ch4	RY03	Mod0 ch4	RWr3	未割当	RWw3	未割当
RX04	Mod1 ch5	RY04	Mod0 ch5				
RX05	Mod1 ch6	RY05	Mod0 ch6				
RX06	Mod1 ch7	RY06	Mod0 ch7				
RX07	Mod1 ch8	RY07	Mod0 ch8				
RX08	未割当	RY08	Mod0 ch9				
RX09	未割当	RY09	Mod0 ch10				
RX0A	未割当	RY0A	Mod0 ch11				
RX0B	未割当	RY0B	Mod0 ch12				
RX0C	未割当	RY0C	Mod0 ch13				
RX0D	未割当	RY0D	Mod0 ch14				

構成表示エリアで選択状態にあるモジュールが占有する I/O を灰色表示します。

6 メインウィンドウ

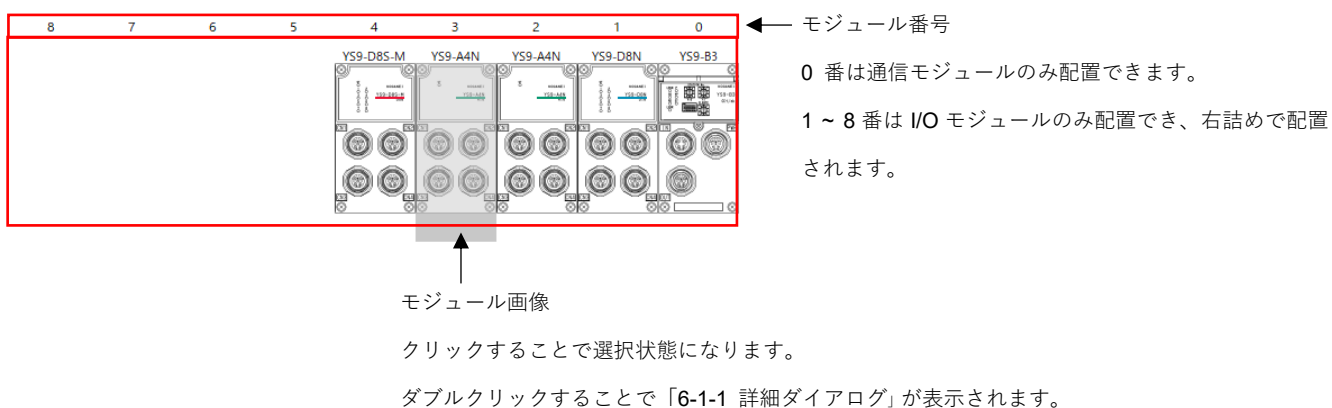
6-1-5 ヘルプ



メニュー名	説明
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

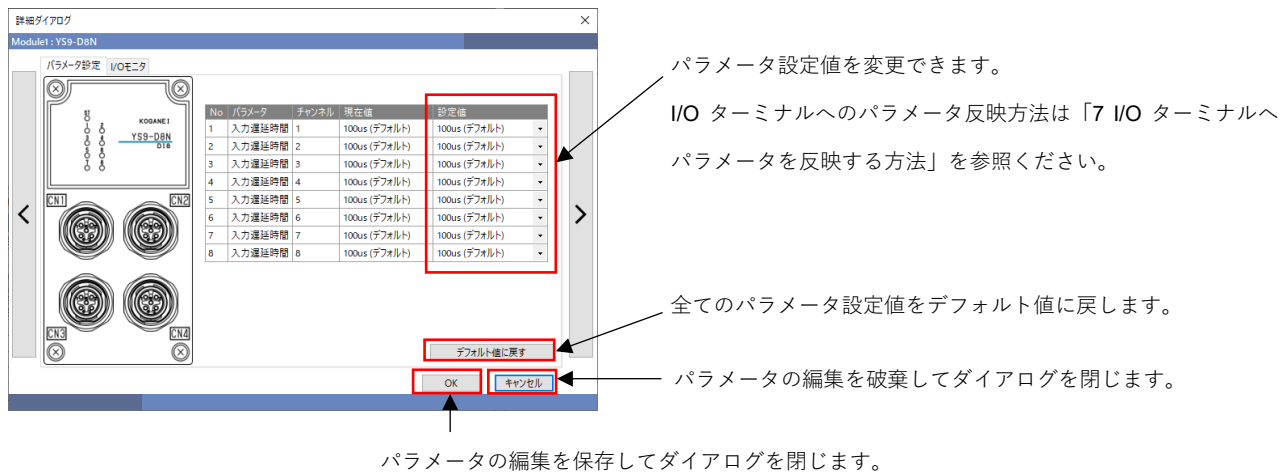
6-1 構成表示エリア

接続している I/O ターミナルのモジュール構成、カタログツリーから作成したモジュール構成を表示するエリアです。



6-1-1 詳細ダイアログ

各モジュールのパラメータ設定および I/O モニタタブ(オンライン時のみ表示)での入出力状態を監視できます。



6-2 メインタブ

メインタブには次に示す三つのタブがあります。

6-2-1 ステータス

ステータス モジュール個別情報 統計			
稼働時間			
累計稼働時間		0:27:21	
稼働時間		0:16:16	
エラー発生情報			
No	検出時累計稼働時間	検出モジュール	エラー番号 エラー内容
1	0:10:25	2	0x0104 過電流検出
2	0:06:08	2	0x0202 I/O使用領域超過(アナログ入力)
3			
4			

接続している YS9 シリーズの運転状態を表示します。

エラー発生情報には過去 20 件までのエラー発生情報を表示します。

※稼働時間、累計稼働時間は目安の時間です。

6-2-2 モジュール個別情報

ステータス モジュール個別情報 統計	
モジュール番号	0
形式	YS9-B3
仕様	CC-Link Ver1.10 バルブ32点出力
入出力情報	入力 0Byte 出力 4Byte
幅	50mm
高さ	100mm
奥行	50mm
消費電流	100mA
重量	50g
バージョン	1.0.10867
シリアル番号	3

構成表示画面で選択しているモジュールの個別情報を表示します。

6-2-3 統計

ステータス モジュール個別情報 統計			
バルブNo.	オン回数	バルブNo.	オン回数
1	0	17	0
2	0	18	0
3	0	19	0
4	0	20	0
5	0	21	0
6	0	22	0
7	0	23	0
8	0	24	0
9	0	25	0
10	0	26	0

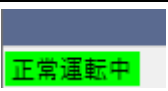
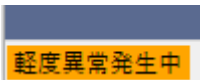
通信モジュールに記録されているバルブオン回数を表示します。

バルブ交換時期の目安としてください。

6 メインウィンドウ

6-1 状態表示エリア

I/O ターミナルの状態を表示するエリアです。次に示す表示状態となります。

表示状態	説明
	オフライン状態です。 パラメータ設定、状態確認を行うためにはオンラインメニューよりオンライン状態としてください。
	I/O ターミナルは正常に動作しています。
	I/O ターミナルで継続運転可能なエラーが発生しています。 エラーを許容して継続運転することができます。 エラーを取り除くためにはステータスよりエラー発生情報を確認し、エラーに応じた処置を行います。 エラー対処方法については「8-1 エラー詳細と対処方法」を参照ください。
	I/O ターミナルで継続運転不可能なエラーが発生しています。 正常動作させるためにエラーを取り除く必要があります。 エラーを取り除くためにはステータスよりエラー発生情報を確認し、エラーに応じた処置を行います。 エラー対処方法については「8-1 エラー詳細と対処方法」を参照ください。

6-2 カタログツリー

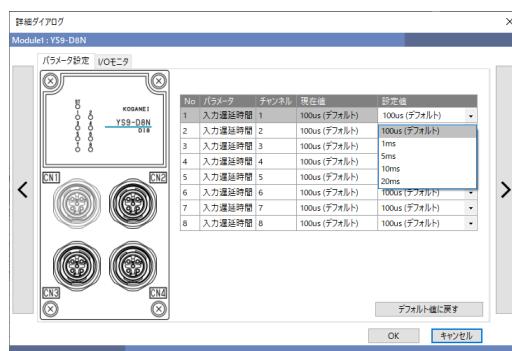
オフライン時にモジュール構成を作成するために使用します。

カタログツリーに表示されたモジュール形式をダブルクリックもしくは構成表示部にドラッグアンドドロップすることでモジュールを追加します。

7 I/O ターミナルへパラメータを反映する方法

本ソフトウェアで設定したパラメータを I/O ターミナルへ反映するフローを示します。

詳細ダイアログにて各モジュールのパラメータ設定を行う。

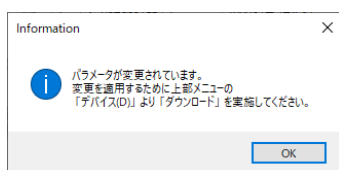


設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする。

オンライン状態の時

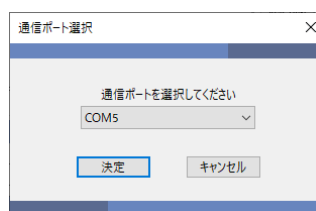
オフライン状態の時

現在値と異なる値を設定した場合、Information ダイアログが表示されるので「OK」ボタンをクリックする。



オンラインメニューより「Online」をクリックする。

通信ポート選択ダイアログが表示されるので I/O ターミナルの接続されているポートを選択する。



※編集中の構成と I/O ターミナル構成が一致していることを確認してください。構成が一致していなければ編集したパラメータをダウンロードすることができません。

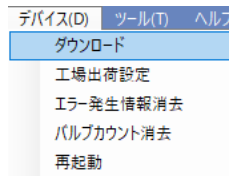
ダウンロード操作を実施する。(P.12)

7 I/O ターミナルへパラメータを反映する方法

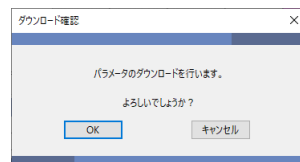
「ダウンロード操作を実施する」(P.11)から



デバイスメニューより「ダウンロード」をクリックする。



表示されたダイアログに従ってダウンロード操作を実施する。



※ダウンロード操作には 5 秒程度かかります。

この間に I/O ターミナルの電源断や、パソコンまたは I/O ターミナルから USB-RS485 変換器の取り外しを行わないでください。

また、パラメータのダウンロード中は安全のために上位コントローラとの通信を切断状態にします。

この間 I/O ターミナルからの出力状態は各出力モジュールのパラメータ **FailureReaction** 設定に従った状態となります。

8 付録

8-1 エラー詳細と対処方法

エラー番号	エラー内容	詳細	対処方法
0x0101	システムエラー	OS 上のエラーや予期せぬエラーが発生しました。	電源の ON/OFF を行い再発するか確認してください。 頻発するようであればお客様技術相談窓口へお問い合わせください。
0x0102	接続モジュール数減少	運転中にモジュール数の減少を検出しました。	電源を OFF し、モジュールの接続状態を確認してください。
0x0103	接続モジュール数増加	運転中にモジュール数の増加を検出しました。	電源を OFF し、モジュールの接続状態を確認してください。
0x0104	過電流検出	I/O モジュールでの過電流発生を検出しました。	電源を OFF し、過電流発生要因を取り除きます。
0x0105	I/O モジュール通信エラー	I/O モジュールとの通信タイムアウトを検出しました。	電源を OFF し、モジュールの接続状態を確認してください。頻発するようであればお客様技術相談窓口へお問い合わせください。
0x0106	メモリ読み書きエラー	通信モジュールの不揮発メモリへの読み書きでエラーが発生しました。	電源の ON/OFF を行い再発するか確認してください。 頻発するようであればお客様技術相談窓口へお問い合わせください。
0x0108	メジャーリビジョン不一致	通信モジュールと I/O モジュールでメジャーリビジョンの不一致を検出しました。	通信モジュールからメジャーリビジョンの異なる I/O モジュールを分離してください。 メジャーリビジョンの異なるモジュール同士は通信を行うことができません。
0x0109	モジュール数仕様超過	通信モジュールに接続されている I/O モジュール数が仕様を超過しています。	仕様上限数まで I/O モジュールを減連してください。
0x010A	I/O モジュール構成不一致	通信モジュールの構成不一致検出モードを ON にした後、モジュール構成を変更した場合に発生します。	構成不一致検出モードを ON にしたときの構成に戻してください。 または構成不一致検出モードを OFF にしてください。
0x010B	ハードウェアエラー	内部 IC との通信異常を検出しました。	電源の ON/OFF を行い再発するか確認してください。 頻発するようであればお客様技術相談窓口へお問い合わせください。
0x0201	I/O 使用可能領域超過(DI)	通信モジュールで使用可能な I/O 領域(デジタル入力)を超過したモジュールが接続されています。	通信モジュールが使用可能な I/O 領域を増加させる。 原因となっている I/O モジュールを通信モジュールから分離する。

8 付録

エラー番号	エラー内容	詳細	対処方法
0x0202	I/O 使用可能領域超過(AI)	通信モジュールで使用可能な I/O 領域(アナログ入力)を超過したモジュールが接続されています。	通信モジュールが使用可能な I/O 領域を増加させる。 原因となっている I/O モジュールを通信モジュールから分離する。
0x0203	I/O 使用可能領域超過(DO)	通信モジュールで使用可能な I/O 領域(デジタル出力)を超過したモジュールが接続されています。	通信モジュールが使用可能な I/O 領域を増加させる。 原因となっている I/O モジュールを通信モジュールから分離する。
0x0204	I/O 使用可能領域超過(AO)	通信モジュールで使用可能な I/O 領域(アナログ出力)を超過したモジュールが接続されています。	通信モジュールが使用可能な I/O 領域を増加させる。 原因となっている I/O モジュールを通信モジュールから分離する。
0x0205	CC-Link 占有局数変化	YS9-B3 使用時に CC-Link 占有局数設定スイッチの変更を検出しました。	通電時の設定に戻す。
0x0206	Hold/Clear スイッチ状態変化	Hold/Clear スイッチの変化を検出しました。	通電時の設定に戻す。

※製品に関するお問い合わせは最寄りの当社営業所または、下記お客様技術相談窓口へ
お問い合わせください。



株式会社コガネイ

お客様技術相談窓口

TEL：0120-44-0944

●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

2026年6月 KG ©KOGANEI CORP. PRINTED IN JAPAN